

平成24年度

特定非営利活動法人 **子どもの森**

総 会 議 案 書



日 時：平成24年4月22日（日）9時30分～

場 所：森^{もり}の学舎^{まなびや}

総 会 次 第

1. 開会のことば
 2. 議長選出
 3. 議事録署名人任命
 4. 資格審査報告
 5. 報告事項
 - I. 平成23年度活動経過報告について
 - II. 、、 収支決算報告について
 - III. 監査報告
 6. 議案
 - I. 平成24年度活動方針（案）について
 - II. 、、 活動計画書（案）について
 7. 議長降壇
 8. 閉会のことば
- お楽しみ会（11：30～）

総 会	日 時	場 所
設立総会	平成15年7月12日（土）13:00	子どもの森事務所
第2回通常総会	平成16年4月15日（木）10:30	子どもの森事務所
臨時総会（第3回）	平成16年11月19日（金）19:30	クリエイティブセンター門川
第4回通常総会	平成17年5月8日（日）10:00	門川町商工コミュニティセンター APIO
第5回通常総会	平成18年4月22日（土）18:00	門川町中央公民館
第6回通常総会	平成19年5月20日（日）16:00	ガーデンベルズ延岡エメラルドの間
第7回通常総会	平成20年5月17日（土）10:00	（仮称）森の学舎（旧西門川小学校松瀬分校）
第8回通常総会	平成21年4月25日（土）10:00	森の学舎
第9回通常総会	平成22年4月25日（日）10:00	森の学舎
臨時総会（第10回）	平成22年10月13日（水）19:30	クリエイティブセンター門川
第11回通常総会	平成23年4月24日（日）9:30	森の学舎

はじめに

5 一昨年度から、協働を意識した活動を進めてきました。これまでの
子どもの森の活動を通して、それぞれの団体単独では、その想
いを形にすることの難しさを感じていました。一方、企業や他の団体
と協働し活動した時には、容易に形になっていく実感がありました。
10 同じ想いを持つもの同士が一緒になって活動や事業を進めて行くこ
とが、地域の問題解決にとって有効な手段であり、宮崎県の委託事
業である「協働商談会開催事業」が、子どもの森の感じている協働
を地域に広げることができる事業であることから、平成23年度に、
15 宮崎県生活・協働・男女参画課と協働して「協働創出市 2011～協働
商談会（県北地区）想いを”かたちに”」を開催しました。21団
体51人の参加があり、この協働商談会開催事業を通して、地域に
おいて協働の考え方が浸透していくことを期待しています。この
「協働商談会開催事業」は、平成22年度に引き続き、子どもの森
が継続開催しました。

20 環境学習においては、門川町行政との協働事業として平成22年
度に実施した「食と環境の関係を考える協働モデル事業」の事業内
容をベースにし、親子を対象にした継続的な体験型環境学習（四季
をまるごと体験 eco スクール）が開催できました。この体験型環
境学習では、同じ参加者で年間9回の活動を進めて行きました。パ
ン作りのために塩や酵母等を手作りし、休耕作地を麦畑に戻す里山
再生等を通して自然と触れ合う原体験として、年間を通した体験型
25 環境学習により、参加者の自然環境への意識と将来の環境保全の担
い手の育成ができたと思います。麦畑は、2期目（今年度）の四季
をまるごと体験 eco スクールにつなげて行きます。

30 森づくりでは、子どもの森1号地の苗木が大きく成長し育林の必
要がなくなり、妖精の森での「竹林の整備」が、ローソン緑の募金
事業として平成22年度から継続認定され、株式会社ローソン社員
と地域のローソン店舗から参加者がありました。門川高校生との門
川高校演習林の「GOCAN（五感）の森」事業も継続しています。

35 平成24年度の活動においても、企業や他の団体、学校や労働団
体と一緒に協働を意識した森づくりや環境体験型学習、自然
交流活動を進めて行きたいと思います。

報告事項Ⅰ．平成23年度活動経過報告

1. 事業の成果

- 5 ①環境プログラム（川をたのしく親しもう、森で過ごそう森に学ぼう、春をたのしもう）を実施することで里山等の自然体験交流と自然環境を理解してもらうための啓発活動ができた。
- ②環境文庫（森の学舎）にて、森の学舎の常時活用と環境問題全般を学習できる場を提供することができた。
- 10 ③森林環境セミナーの実施にて、環境問題への取組みのひとつである森づくり活動に継続して参加するボランティアと、森づくり活動を自らコーディネートするリーダー的ボランティアの育成ができた。
- ④平成18年度から引き続き森林の再生活動（門川高等学校演習林）と平成21年度から始めた竹林の整備の実施にて、森林環境の保全活動ができた。
- 15 ⑤県北地域の親子が、9カ月間を通して自然環境を考える体験型環境学習（四季をまるごと体験e c oスクール）で、より深く多面的に自然環境を理解してもらう啓発活動ができた。
- ⑥協働商談会事業（協働創出市2011）を企画開催することで、地域の行政や企業とNPO等の協働を推進することができた。
- ⑦Webページと広報紙の発行により、活動の情報発信と環境問題の啓発活動ができた。

20 2. 事業内容（特定非営利活動に係る事業）

（1）農林漁業などの産業体験や里山等の自然体験交流事業

①椎茸ほだ木の管理（ほだ場作業）

- 25 ・実施日：5月22日
- ・実施場所：森の学舎（門川町大字川内字イカダ場 3412-1※以降省略）
- ・参加者：10人
- ・実施内容：平成22年度の「森林環境セミナー」と「山菜料理と椎茸菌コマうち体験」で仮伏せをしていた椎茸ほだ木を、森の学舎裏にほだ場を作って本伏せ状態にした。

30

②川を活用した自然体験交流（川をたのしく親しもう）

- 35 ・実施日：7月31日
- ・実施場所：森の学舎と五十鈴川
- ・参加者：25人（うち子供15人）、スタッフ：7人
- ・協力：フェニックス宮崎ネイチャーゲームの会（4人）
- ・実施内容：親子を対象に、ネイチャーゲームで自然をさまざまな感覚や心を通じて理解し、自然と自分が一体であることを学び、川あそびをとおして自然の豊かさを楽しみ、自然の大切さを学んだ。この体験を通して、豊かな森と水を含め環境を守るために参加者が自分で出来ることを見つけるためのきっかけづくりができた。
- 40

③山菜料理と椎茸菌コマうち体験（春をたのしもう）

- 45 ・実施日：平成24年3月25日
- ・実施場所：森の学舎
- ・一般参加者：30人
- ・企業参加：ローソン・グループ 7人
- ・団体参加：ボーイスカウト延岡第4団 14人
- ・スタッフ：7人
- ・取材：宮崎日々新聞社日向支局

- ・実施内容：森の学舎周辺の田んぼや土手で、食べることができる野草・山菜を探し収穫し料理をして春の自然を楽しみ自然の大切さを学んだ。希望者による椎茸菌コマをコナラの原木に摂取する産業体験を実施した。

5 (2) 中山間地の荒廃した里山の環境保全再生事業

①水源の涵養や災害防止など森林の持つ公益的機能の再生事業

- ・実施日：6月18日
- ・実施場所：門川高校演習林（門川町大字川内字中山1102-1）/GOCAN（五感）の森
- ・参加者：9人

10 ・実施内容：台風で植林されていた杉が流された門川高等学校演習林の自然環境の復元を図るために、平成18年度に門川高校生と協働して広葉樹を植樹したフィールドの下草刈を実施した。

- ・助成等：宮崎県森林づくり活動支援事業。

15 ②放置竹林の広葉樹林への復元活動

- ・実施日：6月4日、7月9日、11日、10月9日、11月12日、13日
平成24年3月3日、25日（春をたのしもうと同時開催）計8回
- ・実施場所：森の学舎裏の竹林（門川町大字川内字イカダ場3400-7）/妖精の森
- ・参加者：延べ94人

20 ・実施内容：手入れがされず放置されている竹林を、子どもが入り遊ぶことができる広葉樹の林に再生し、人や動植物にやさしい自然環境と水源かん養や災害の防止など森林の公益的機能の維持増進を図るために、平成21年度から継続して竹の伐採を続けた。

25 伐採した竹林の面積は約0.1haで、伐採竹は、粉碎機でチップにして堆肥作りを兼ねて森の学舎グラウンドの一部に散布した。また、伐採した竹で棚を作り、棚に倒竹や竹笹部分等を積んで行った。その他に、四季をまるごと体験e c oスクールでの竹イカダにも伐採した竹を活用した。

30 平成24年3月25日は「春をたのしもう」と同時開催により52人の参加があり、平成21年度に竹を伐採し広葉樹の植樹をした空間に広葉樹を捕植樹した。企業（株式会社ローソン社員、近隣のローソン店舗の店長と従業員）からの参加が7人あった。

- ・助成等：国土緑化推進機構特定公募事業（ローソン緑の募金事業）。

35 ③子どもの森1号地

平成18年3月に400本を植樹した子どもの森1号地は、苗木も大きくなり下草刈の必要がなくなっているため、植樹した広葉樹の成長調査のみを実施した。現在は、フィールド所有者による枝打ちと間伐が行われている。



協働創出市2011



春をたのしもうでの椎茸菌コマうち

(3) 地域の自然環境などを理解してもらうための啓発活動

①四季をまるごと体験e c oスクール

・実施日：6月25日、7月23日、8月21日、10月8日、10月22日、11月19日
12月10日、平成24年1月14日、1月28日、2月18日 計10回

・実施場所：森の学舎

・参加者：18人（子供11人）、スタッフ：延べ6人

・実施内容：地域の小学生とその保護者に対して、四季を通じた自然体験や農業体験から自然の大切さを理解し、将来の自然環境の守り手に育てってもらうために、9カ月の期間を通して、同じ参加者によるスクール形式により下記のことを実施した。

1) ネイチャーゲーム（フェニック宮崎ネイチャーゲームの会）

2) スクールの旗作り

3) 竹イカダを作り川下りによる河川清掃

4) 塩づくり

5) 麦畑づくり

6) イチゴの収穫（松田農園）と自家製酵母づくり

7) 乳牛牧場での酪農体験（矢北牧場）とバターづくり

8) 石臼による小麦挽き

9) 文集制作

・助成等：セブン-イレブンみどりの基金。

②森林を活用した体験型啓発活動（森で過ごそう森に学ぼう）

・実施日：12月4日

・実施場所：森の学舎

・参加者：18人（子供12人）、スタッフ：4人

・実施内容：樹木の二酸化炭素吸収量を測定し、樹木が二酸化炭素削減に大きな役割を果たしていることを学習した。また、参加者がドングリを自宅で苗木へと育てるために、ドングリの竹ポットを作った。自然における樹木に愛着を持ち樹木の大切さを知ること、自然環境を理解する啓発活動となった。参加者で育てたドングリの苗木は、数年後に地域の山への植樹へと発展させる。

・助成等：宮崎県森林づくり活動支援事業。

(4) 市民活動の活性化に関わる企画、コーディネート事業

①協働創出市2011

・実施日：平成24年2月8日

・実施場所：クリエイティブセンター門川

・参加団体：21団体（51人）

・実施内容：県北地区において、行政とNPO等、企業とが話し合いや意見交換をする機会を設けることで、多様な団体等とを結び付け、新しい協働を創出する「協働商談会」の企画開催をした。また、事業の一部としてWebページの管理運営も行った。

・助成等：宮崎県生活・協働・男女参画課の委託事業。

②森林環境セミナー（森づくりボランティアの養成）

・実施日：平成24年3月17日、18日

・実施場所：森の学舎

・受講者数：5人、スタッフ：2人、講師：4人

・実施内容：森づくりに参加したことのない方へ、森づくり活動の必要性を訴え活動に

参加できる人材を養成した。森林生態・山林機械の実技講習・自然観察と森林資源活用について学習した。

- 1) 森づくりのための森林生態学（宮崎大学農学部准教授 高木正博さん）
- 2) 森づくりボランティアの紹介（横山理事長）
- 3) 植物観察（県北植物愛好会 成迫平五郎さん）
- 4) 森づくりでの安全管理（安全技術指導員 岩田幸生さん）
- 5) チェンソーなどの山林作業機械の使用法（林業従事者 松本哲也さん）
- 6) 森林資源の活用（キノコの栽培）（横山理事長）

・助成等：宮崎県森林づくり活動支援事業。

(5) 活動の情報発信・啓発のための事業

①Webサイトの運営

- ・実施時期：4月～平成24年3月
- ・実施内容：子どもの森のすべての活動と自然環境啓発等を、月4～5回のWebページ更新にて情報発信をした。1日平均12件のWebページ（トップページ）の閲覧があった。

②機関紙の発行（子どもの森通信8号）

- ・発行月：6月
- ・実施内容：子どもの森の前年度活動と自然環境啓発等を、機関紙「子どもの森通信」をA4サイズ12ページで発行をして情報発信ができた。機関紙は、正会員・賛助会員・行政機関・活動助成元等と、子どもの森の活動紹介で関係者へ配布した。また、Webページからもダウンロードできるようにした。

③事業案内チラシの作成

- ・実施時期：各事業の開催1カ月～2カ月前
- ・実施内容：宮崎県や宮崎県教育委員会等の後援をもらい、それぞれの事業や活動の案内チラシや参加者募集チラシを作成した。主に県北の図書館や近隣のスーパー等においてもらった。また、Webページからもダウンロードできるようにした。

(6) その他目的を達成するために必要な事業

①森の学舎の有効活用としての施設開放

- ・リバーシブル日向（8月18日）
- ・ボーイスカウト延岡第4団（平成24年1月11日～12日、3月4日～5日）
- ・子ども土曜教室「うきうき・おもしろ探検隊」※環境学習と体験昼食をサポート（9月17日）

②森の学舎の環境整備

- ・屋外用移動式黒板の制作
- ・受付用机と椅子の制作
- ・屋外用カフェ機の制作
- ・カブトムシ幼虫の飼育箱の制作
- ・薪小屋の制作
- ・五右衛門風呂の安全柵の設置
- ・グラウンドの草刈

③各種講演や事業説明

- ・東臼杵郡公民館連合会実践研究セミナーでの講演（11月28日）
横山理事長『環境保全活動を通して「こどもの成長と公民館の役割」』

- ・ 連合愛のカンパ意見交換会（平成24年2月28日）
横山理事長『連合愛のカンパ事例紹介』

④報道出演

- 5
- ・ NHK総合「いっチャがゴールド」でのe c oスクール紹介（8月5日）
横山理事、四季をまるごと体験e c oスクール参加者2名
 - ・ MRTラジオ「エ・コ・コロ・カフェ」12月25日放送の収録（12月24日）
横山理事



四季をまるごと体験e c oスクールで購入した耕うん機



高校生とGOCAN（五感）の森での下草刈り

10

3. 寄付金・助成金等

(1) 宮崎県森林づくり活動支援事業（宮崎県森林環境税）

- 15
- 高校生とのGOCANの森下草刈り・体験型環境学習（森で過ごそう森に学ぼう）・森林環境セミナー・森の学舎裏山の竹林伐採跡地への補植樹の事業費352千円に対して、249千円の助成を受けました。

(2) 緑の募金特定公募事業（国土緑化推進機構緑）

- 20
- 妖精の森の竹伐採（竹林の整備）をするために購入した樹木粉碎機を使って、平成23年度に伐採した竹をチップに粉碎できました。平成22年9月から平成23年8月までが、緑の募金特定公募事業の事業期間であり、事業費1,722千円に対しての助成額は、1,700千円でした。

(3) 緑の募金特定公募事業継続（国土緑化推進機構緑）

- 25
- 平成23年度の緑の募金特定公募事業の継続事業として、平成23年7月～平成24年6月までに実施する妖精の森の竹伐採について、822千円の助成を受けることになっています。平成24年3月までに、約80千円を支出しました。

(4) セブン-イレブンみどりの基金

- 30
- 四季をまるごと体験e c oスクールの開催のために、事業費690千円に対して、597千円の助成を受けました。

(5) 協働商談会開催事業委託費（宮崎県生活・協働・男女参画課）

- 35
- 607千円の委託費を受けて、宮崎県北の行政や企業とNPOとの協働事業を推進するためのマッチング事業である協働商談会（協働創出市2011）を実施した。委託費収入の内52千円が事務経費（粗利）となりました。この事務経費は、一般管理費と各種助成事業での自己負担額に充当しました。

(6) イオン黄色いレシートキャンペーン

5 黄色いレシートキャンペーンの投函箱を、ホームワイド出北店・マックスバリュー南延岡店・ホームワイド財光寺店・イオンロックタウン日向店に設置しています。投函されたレシート金額の1%が団体に商品券が寄贈されます。128千円の商品券が寄贈されました。商品券については、一般管理費と助成事業での自己負担額に充当しました。

(7) 環境gooo（株式会社NTTレゾナント）

10 パソコンや携帯から「ポータルサイト緑のgooo」を利用することで、goooが得た収益の一部を、地球温暖化対策などの環境保護活動を行うNGOやNPOに寄付が行われています。平成22年度に続いて、その寄付先に子どもの森が選ばれ、45万円の寄付をいただきました。この寄付は、運営費の財政強化として次年度への繰越金としました。

(8) Mエコスタイル

15 宮崎日々新聞社の企業広告収入（42社分）を財源として、Mエコスタイル寄付として、宮崎県内で活動している環境保全団体より子どもの森が選ばれて、50千円の寄付をいただきました。Mエコスタイル寄付先は5団体です。この寄付は、運営費の財政強化として次年度への繰越金としました。

(9) 事業収入と一般寄付

20 環境プログラム（川をたのしく親しもう、森で過ごそう、春をたのしもう）の参加費・森林環境セミナーの受講料・森の学舎開放での収入・理事からの寄付等で、総額336千円がありました。この事業収入と一般寄付は、一般管理費と助成事業での自己負担額に充当しました。

25 4. その他

(1) 新聞等で、子どもの森の活動他の紹介が、下表の様にありました。

わいWaiTV	「四季をまるごと体験ecoスクール」	6月29日放映
ソトコト	日本を元気にする九州の100人 (横山理事長の紹介)	5月号
宮日新聞	植物や昆虫探したよ (四季をまるごと体験ecoスクール)	6月26日掲載
	「ヨモギおいしい」親子山菜摘み味わう (春をたのしもう)	平成24年3月28日掲載
夕刊デイリー	森づくりシンポ育て守る大切さを再確認 (横山理事長の事例発表)	11月4日掲載

※上記、ソトコトと宮崎新聞と夕刊デイリーは、許可を得てWebページに掲載しています。

30 (2) 森づくりシンポジウム

35 11月30日に宮崎県武道館で開催された「みやざき森づくりボランティア協議会」主催の「森づくりシンポジウム」のスタッフとして、会員3人が参加しました。「神話に学ぶ災害からの復興～森の破壊神から守護神になったスサノオ～」をテーマに、大阪在住で勤務医で小説家の石黒耀さんの講演と、横山理事長による「子どもの森」の森づくり事例発表がありました。

平成23年度事業経過一覧

月	実施日	活動名	場所	備考/内容/一般参加者募集
4	11(月)	会計監査	栃原監事宅	
	20(水)	理事会	事務局	
	24(日)	第11回通常総会	森の学舎	総会終了後「山菜を食べよう会」を開催
5	4/30(土)、1(日)	竹林の整備、森の学舎の施設整備	妖精の森	タケノコ除去
	4(祝)、5(祝)		森の学舎	机・椅子などの製作
	7(土)、8(日)			
	13(金)	理事会	事務局	
	21(土)	本伏せ準備	森の学舎	
	22(日)	椎茸・木耳の本伏せ	森の学舎	
6	4(土)	竹林の整備	妖精の森	竹伐採
	11(土)	森の学舎の施設整備	森の学舎	グラウンドと周辺の草刈
	16(木)	理事会	事務局	
	18(土)	夏の下草刈	GOCANの森	高校生との下草刈
	19(日)	みやざき森づくりボランティア協議会総会	大淀川学習館	
	25(土)	エコ・スクール	森の学舎	開校式、ネイチャーゲーム
7	9(土)、10(日)	竹林の整備	妖精の森	竹伐採、粉碎
	16(土)、17(日)	竹イカダづくり、竹イカダ川下り	森の学舎 五十鈴川	ecoスクールの準備
	22(金)	理事会	事務局	
	23(土)	エコ・スクール	森の学舎	竹イカダづくり
	31(日)	川を活用した自然体験活動	森の学舎 五十鈴川	ネイチャーゲーム、川あそび
8	5(金)	NHK総合 [いっチャがゴールド]	NHK宮崎放送局	横山理事、ecoスクール参加者2名
	21(日)	エコ・スクール	五十鈴川	川下りと川の清掃
	31(水)	理事会	事務局	
9	9(金)	協働創出市の打ち合わせ	県庁	横山理事長、丸野副理事長、横山理事
	17(土)	子ども土曜教室	森の学舎	日向市中央公民館子ども土曜教室
	26(日)	畑づくりの準備	森の学舎	ecoスクールの準備
10	8(土)	エコ・スクール	海沖、森の学舎	塩づくり
	9(日)	竹林の整備	妖精の森	竹伐採、粉碎
	22(土)	エコ・スクール	森の学舎	小麦畑づくり、野菜収穫
	23(日)	麦種まきの準備	森の学舎前の畑	ecoスクールの準備
	30(日)	森づくりシンポジウム	宮崎県武道館	みやざき森づくりボランティア協議会
11	5(土)、6(日)	麦種まきの準備	森の学舎	ecoスクールの準備
	10(木)	麦種まきの準備	森の学舎	ecoスクールの準備
	12(土)、13(日)	竹林の整備	妖精の森	竹棚づくり、竹粉づくり
	19(土)	エコ・スクール	森の学舎	小麦種まき
12	28(月)	東臼杵郡公民館連合会実践研究セミナーでの講演	クリエイティブセンター門川	横山理事長『環境保全活動を通して「こどもの成長と公民館の役割」』
	3(土)	森で過ごそう!森に学ぼう!の準備	森の学舎	森林をテーマにした体験型環境学習
	4(日)	森林を活用した体験型環境学習	森の学舎	二酸化炭素測定、ドングリ・ポットづくり
1	24(土)	エ・コ・コロカフェの収録	MRT ラジオ	横山理事
	14(土)	エコ・スクール	森の学舎 イチゴ農家	酵母づくり、小麦挽き
	24(火)	理事会	事務局	
2	28(土)	エコ・スクール	矢北牧場 森の学舎	バターづくり(酪農体験)、小麦挽き
	8(水)	協働創出市2011	クリエイティブセンター門川	
	18(土)	エコ・スクール	森の学舎	石窯でのパン焼、閉校式
3	28(火)	連合愛のカンパ意見交換会	宮崎中央公民館	横山理事長、横山理事
	3(土)	竹林の整備	妖精の森	竹伐採、竹棚づくり、下草刈り
	17(土)、18(日)	森林環境セミナー	森の学舎	森づくりボランティアの普及
	20(火)	理事会	事務局	
	25(日)	植樹・春をたのしもう	森の学舎	補植樹、山菜収穫、竹林整備、シイタケ駒打ち

報告事項Ⅱ. 平成23年度収支決算報告

平成23年度 特定非営利活動に係る収支計算書
(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

	予算額	決算額	差異 -	備考
収入の部				
1 会費収入	162,000	133,000	29,000	
正会員	92,000	88,000	4,000	正会員@5,000×13人+特別会員@1,000×2人+前年度未納16,000
賛助会員	70,000	45,000	25,000	@5,000×8人+前年度未納5,000
2 事業収入	75,000	124,300	49,300	各種参加費、森の学舎使用料
3 委託事業収入	673,000	667,900	5,100	協働創出し 2011
4 助成金収入	2,172,550	1,794,747	377,803	セブンイレブンみどりの基金、森林づくり活動、緑の募金特定公募事業
5 寄付金収入	736,500	834,900	98,400	一般活動支援寄付、緑のgoo、イオン黄色いレシート、宮崎日々新聞社 M エコスタイル、森の学舎トイレ使用
6 雑収入	2,000	11,417	9,417	預金利息、講師謝金 他
当期収入合計	3,821,050	3,576,447	244,603	
前期繰越収支差額	985,168	985,168	0	
収入合計	4,806,218	4,551,432	254,786	
支出の部				
1 事業費	2,460,000	2,096,340	363,660	
自然体験交流	761,000	690,529	70,471	エコ・スクール、耕うん機
環境保全再生	868,000	744,571	123,429	各森づくり、森林での環境学習、森林環境セミナー、竹林の整備
啓発活動	65,000	31,013	33,987	川での自然体験、シイタケ栽培
市民活動の活性化	706,000	615,734	90,266	協働商談会
情報発信・啓発	10,000	0	10,000	機関紙作成、HP運営
その他	50,000	14,493	35,507	森の学舎修繕
2 管理費	275,000	217,377	57,623	
通信費	25,000	24,897	103	郵便、事務局電話料、森の学舎携帯
消耗備品費	3,000	11,381	8,381	文房具 他
旅費交通費	30,000	11,210	18,790	各種会議、ラジオ・テレビの収録 他
諸会費	3,000	3,000	0	みやざき森づくりボランティア協議会
会議費	10,000	2,940	7,060	総会、理事会
研修費	30,000	0	30,000	
損害保険料	10,000	10,230	230	ボランティア保険
租税公課	4,000	2,900	1,100	助成金申請、県事業報告用
施設管理費	145,000	149,864	4,864	土地借用代、浄化槽管理費、森の学舎電気代
雑費	15,000	955	14,045	振込手数料等
3 予備費	300,000	7,120	292,880	協働創出し 2011 委託費返金、畠山さんへの義援金
当期支出合計	3,035,000	2,320,837	714,163	
当期収支差額	786,050	1,245,427	459,377	
次期繰越収支差額	1,771,218	2,230,595	459,377	

次期繰越収支差額の内容

科目	当期末残高	前期末残高
現金預金	2,286,724	1,467,814
未収金	97,963	200,000
前払金	774	904
合計	2,395,644	1,668,718
前受金	10,000	683,550
未払金	144,866	0
合計	154,866	683,550
次期繰越収支差額	2,230,595	985,168

平成23年度 特定非営利活動に係る貸借対照表 (平成24年3月31日現在)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金		43,752	
普通預金		2,242,972	
未収金		97,963	
前払金		774	
流動資産合計			2,385,461
2 固定資産			
機械及び装置	1,686,000		
減価償却累計額	△810,088	875,912	
固定資産合計			875,912
資産合計			3,261,373
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金		10,000	
未払金		144,866	
流動負債合計			154,866
負債合計			154,866
III 正味財産の部			
基本金		2,156,111	
当期正味財産増加額(減少額)		950,396	
正味財産合計			3,116,690
負債及び正味財産合計			3,261,373

5



妖精の森での補植樹



四季をまるごと体験ecoスクール (矢北牧場にて)

平成23年度 特定非営利活動に係る財産目録
(平成24年3月31日現在)

科目		金額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	現金手元有高	43,752	
普通預金	宮崎太陽銀行門川支店	1,495,751	
普通預金	九州ろうきん延岡支店	747,221	
未収金	緑の募金事業 23 年度分助成額	97,963	
前払金	カンパニメント・システム使用料	774	
流動資産合計			2,385,461
2 固定資産			
機械及び装置	チップーシュレッダー (新ダ イ CSE50-W)	253,050	
	チップーシュレッダー (大橋 GS121GB)	1,330,350	
	耕うん機 (HONDA ビアンタ)	102,600	
減価償却累計額		△810,088	875,912
固定資産合計			875,912
資産合計			3,261,373
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	24 年度会費 (2 人分)	10,000	
未払金	協働商談会委託費残金	69,100	
未払金	セブソールブロンみどりの基金助成残金	75,766	
流動負債合計			154,866
負債合計			154,866
正味財産			3,106,507

チップーシュレッダー (新ダ イ CSE50-W) の減価償却について

・償却前価格:48,792 耐用年数:8年 ・償却方法:定率法 ・償却率:0.25 ・当該年度償却月数:12ヶ月

チップーシュレッダー (大橋 GS121GB) の減価償却について

・償却前価格:1,122,151 耐用年数:8年 ・償却方法:定率法 ・償却率:0.313 ・当該年度償却月数:12ヶ月

耕うん機 (HONDA ビアンタ)

・償却前価格:102,600 3 年均等償却



川をたのしく親しもう (ジグソーストーン)



森で過ごそう森に学ぼう (樹木二酸化炭素吸収量測定)

報告事項Ⅲ. 監査報告

監査報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日までの理事の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下の通り報告します。

監査の結果

- この法人の会計の方法及びその結果は、相当であると認めます。
- 財産目録は、この法人の財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項はありません。
- 貸借対照表は、この法人の財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項はありません。
- 収支計算書は、法令及び定款に従い、この法人の状況を正しく示していると認めます。

平成24年4月 // 日

特定非営利活動法人 子どもの森

監事

金子 恭子



NHK宮崎放送局「いっチャがゴールド」(出番待ち)



MRT ラジオ「エ・コ・コロ・カフェ」

議案Ⅰ. 平成24年度活動方針(案)

1. 農林漁業などの産業体験や里山等の自然体験交流事業

5 農林漁業は、食料など農海産物を生産するだけでなく、その生産活動を通じて、国土の保全、水資源の涵養(かんよう)、自然環境や美しい景観の形成、伝統文化や食文化の継承など、国民の暮らしや環境にとって欠かせない役割を果たしています。これらの役割を総称して、「多面的な役割」又は「多面的機能」と呼んでいます。

農林業の多面的な役割は、各国の自然条件や農林業生産の内容によっても異なりますが、日本の場合には中山間地域や水田の果たす役割が非常に大きいのが特徴です。

10 たとえば、中山間地域にある水田は、一般に河川の上流にあることから、大雨が降ったときに水量を調節するダム^①の役割を果たし、下流の都市を洪水から守ります。また、棚田は美しい景観や生態系の保存にとって欠かせない役割をもっています。そして、漁業は河川や海の自然環境が悪化したら敏感に影響を受ける産業です。

15 私たちの食料を生産する生活の根本的な産業である自然環境の中で培われている農林漁業や里山等の自然体験交流を通して、自然環境の大切さを知るための啓発的な活動を行います。

(1) エコ・スクール(2期四季をまるごと体験ecoスクール)

- ・開催月：5月～翌年3月(計10回)
- ・参加数：20人(県北地域の小学生と保護者)
- 20 ・内容：パン作りによる食と環境についてを切り口に、自然環境を遊びや観察、農業等の原体験を通して、中山間地域である里山の自然環境の大切さと保全の必要性を学習する。
 - ①ネイチャーゲームを体験して、身近な植物、生き物、森林について五感を通して自然の大切さを知る。
 - 25 ②竹でイカダを作り、竹のイカダで川を下りながら川の清掃をする。
 - ③海沖で海水を汲み、釜戸で沸かして塩を作る。
 - ④昨年度に作った小麦畑から麦を収穫し、昔の道具で脱穀や脱ふんを行い、石臼で挽いて小麦粉を作る。
 - ⑤ダンボール・コンポストを使って麦畑の堆肥を作る。
 - 30 ⑥収穫した小麦を畑に蒔く。※麦畑の育てた小麦は次年度のエコスクールで使用する。
 - ⑦パンの材料である天然酵母を身近な食材であるイチゴで作る。イチゴは、森の学舎近辺のイチゴ農家でイチゴ狩りをする。
 - ⑧パンの材料であるバター^②の作り方を近辺の乳牛農家で学び、酪農体験(生乳を搾り、牛の世話等)を体験する。
 - 35 ⑨石臼で挽いた小麦粉・手作り塩・天然酵母・手作りバターを使い石釜でパンを焼く。
 - ⑩森の学舎周辺の畑で旬の野菜を収穫して参加者で料理をする。また、釜戸で羽釜炊飯を体験する。
 - ⑪文集の制作。
- ・助成：子どもゆめ基金
- 40 ※ネイチャーゲームは、宮崎県ネイチャーゲーム協会等よりネイチャーゲーム・リーダー2名の派遣を依頼します。

(2) 椎茸栽培

45 平成23年度の「森林環境セミナー」と「春を楽しもう」で椎茸ほだ木(椎茸の菌を接種したコナラ木)が40本あります。本伏せを「森林環境セミナー」と「春を楽しもう」の参加者、会員や協力者へ案内をして、5月に実施します。

また、平成22年度の「森林環境セミナー」と「春を楽しもう」で椎茸ほだ木が60本あります。こちらは、今年の秋に収穫がみこまれるため、椎茸の発生時期が近づいたら、平成22年度の「森林環境セミナー」と「春を楽しもう」の参加者に、ほだ木の浸水とほだ木の本伏せを案内して椎茸の収穫につなげたいと思います。

50

2. 中山間地の荒廃した里山の環境保全再生事業

人や動植物にやさしい自然環境と水源かん養や災害の防止など森林の公益的機能の維持増進を図るため、杉と広葉樹の（針広）混交林（子どもの森1号地）と門川高校演習林災害後の再生（GOCANの森）、森の学舎裏山の竹林の整備（妖精の森）の森づくりを行なっています。今年度も引き続き、会員・一般参加者・門川高校生・森林ボランティア（森林サポーター）等に呼びかけ、継続した森づくり活動に取り組んでいきます。また、市町村に広報を依頼して参加者を募集すること、企業や各種団体に森林づくりへのボランティア参加をお願いして行きたいと思ひます。

10 (1) 子どもの森1号地

平成18年3月に400本を植樹した子どもの森1号地は、苗木も大きくなり下草刈の必要がなくなっています。今年度も現状調査を実施して行きます。

(2) GOCANの森

15 門川高校生と協働して実施した森林の再生活動（平成19年3月に植樹）をした門川高校実習林の下草刈を昨年度に続き、門川高校に高校生のボランティアを依頼し6月に実施します。下草刈終了後に森の学舎で、素麺流し等の昼食会を行ないたいと思ひます。

この事業は、森林づくり活動（宮崎県森林環境税）の助成を受けて実施する予定です。

20 (3) 妖精の森

長期計画で森の学舎裏の放置されている竹林の一部を落葉樹の林に変えて行く活動の4年目となります。今年度も平成23年度に引き続き、伐採した竹の一部を使って竹棚を作り、粉碎機でチップとパウダーを作ります。また、伐採した竹の活用としての竹炭は、今年度7月から開始します。

25 竹林は、森の学舎裏手にあたる場所で、一般参加者や企業と各種団体に参加を呼びかけ、月に1回程度の活動日を設け、約0.1haを奥行き約20m程度にある竹を伐採して行きます。3月には、平成23年度と22年度において竹を伐採した空間に、広葉樹を植樹もしくは補植樹をして行きます。

30 この事業は、竹林の整備を緑の募金特定公募事業（国土緑化推進機構）の助成で行い、補植樹を森林づくり活動（宮崎県森林環境税）の助成を受けて実施する予定です。



平成23年度総会



森林環境セミナー(チェーンソー実習)

3. 地域の自然環境などを理解してもらうための啓発活動

35 地球温暖化や荒れた森林、河川や海の汚染等の環境問題に関心を持ち考えてもらうために、森林・河川・里山等を活用した体験型啓発活動を開催します。広く参加者を募って、環境プログラム（体験型環境学習）に参加してもらい、『あなたのできること私のできること』をキーワードに、個人でも取り組める環境問題への活動に気付いてもらい、できるだけ良い自然環境を子どもたちに残していくことを、多くの人が実践してもらうための基盤整備とすることを目

的とします。

(1) 川を活用した自然体験交流（川をたのしく親しもう）

- 5 ・開催月：7月
 - ・参加数：親子25人
 - ・場所：森の学舎と五十鈴川
 - ・内容：ネイチャーゲームで、自然をさまざまな感覚や心を通じて理解し、自然と自分が一体であること、川あそびをとおして自然の豊かさを楽しみ、自然の大切さを学ぶ。
 - 10 ①「森の学舎」の前に流れている五十鈴川で魚や蝦捕りをして、川で暮らす生き物の名前を覚える。生き物の名前を覚えることで、自然環境に興味と親しみがわき、自然環境の大事さを感じることができる。
 - ②川をたのしみ親しむために、ネイチャーゲームを川で実施する。川の自然と人間生活が密接に関係していることを学習する。
 - 15 ・助成：子どもゆめ基金。
- ※ネイチャーゲームは、宮崎ネイチャーゲーム協会等よりネイチャーゲーム・リーダー3名の派遣を依頼します。

(2) 森を活用した体験型環境学習（森で過ごそう森に学ぼう）

- 20 ・開催月：12月
- ・参加数：親子20人
- ・場所：森の学舎
- ・内容：樹木の二酸化炭素吸収量学習、ドングリ苗木の育て方、ドングリを使った工作、アウトドアクッキングを通して、自然の豊かさを楽しみ自然の大切さを学びます。
- 25 ①グラウンドにある樹木の二酸化炭素吸収量を推定し、樹木が二酸化炭素削減に大きな役割を果たしていることを知る。
- ②ドングリから参加者が自宅で苗木へと育てる学習と、樹木の名前の学習を通して、自然における樹木に愛着を持ち樹木の大切さを知る。参加者で育てたドングリの苗木は、数年後に地域の山への植樹へと発展させる。
- 30 ③落枝やドングリ等の自然素材を使って工作をすることで、自然環境の恩恵を遊びの中から感じ考える。
- ④昼食は、参加者全員でアウトドア料理を作る。
- ・予定助成：子どもゆめ基金

35



四季をまるごと体験ecoスクール旗



四季をまるごと体験ecoスクール閉校寄せ書き

(3) 春の山菜・野草を楽しむ

- ・開催月：平成25年3月

- ・参加数：30人
- ・場所：森の学舎
- ・内容：森の学舎周辺の田んぼや土手で、食べることができる野草・山菜を探し収穫し料理をして春の自然を楽しみ自然の大切さを学ぶ。また、妖精の森への補植樹を同時開催する。

5

4. 市民活動の活性化に関わる企画、コーディネート事業

地域の課題に対して何かの役に立ちたいと思い、地域活動に参画する意向のある人は増えてきています。そうした動きに対して行政も、地域の活性化、雇用の確保、行政サービスの補完等の観点で関心を持っています。しかし、意欲のある人や団体でも、具体的な始め方、仲間や協力者の見つけ方、必要な知識やスキルの身に付け方等、いくつかのハードルの存在が想定されます。従って、それらを克服し、参加意欲を実際の行動に結び付けていけるような支援の仕組みを地域に構築することの必要性があります。

10

15 (1) 第3回協働商談会事業（協働創出市2012）

- ・開催月：11月
- ・参加数：40団体
- ・場所：未定
- ・内容：県北地区において、行政とNPO等とが話し合いや意見交換をする機会を設けることで、行政や企業とNPO等とを結び付け、新しい協働を創出する「協働商談会」の企画開催とWebページの管理運営を宮崎県生活・協働・男女参画課からの委託として行う。

20

・委託：宮崎県の協働商談会開催事業

※平成23年度は、平成22年度に引き続き継続委託でしたが、今年度は公募となります。

25

(2) 第5回森づくりボランティア養成セミナー（森づくりのための森林等環境学習）

- ・開催月：平成25年3月
- ・参加数：15人
- ・場所：森の学舎
- ・内容：植樹から育林作業（下草刈など）の継続した活動により健全な森づくりを進めることができる。継続した森づくりの活動には、森林環境の必要性や森林分布・植物の知識も必要となる。森づくりに参加したことのない方へ、森づくり活動の必要性を訴え、継続的な森づくりボランティア活動を進めるための知識と理解、その重要性への認識を深める。

30

①森林の分布・森林が育む植物の観察

②森林の生態と自然保護

③森づくり活動の現状と必要性

・予定助成：森林づくり活動（宮崎県森林環境税）

※平成23年度までは、山林機械使用法等の実技がありましたが、今年度は、学科講習として実施します。

40

5. 活動の情報発信・啓発のための事業

活動を開催日前に告知することで活動の参加者を募集し、活動の内容を情報発信することで子どもの森の活動への理解を通して、自然環境の大切さ、地域を良くするための協働への参画を促していきます。

45

(1) Webサイトの運営

・時期：4月～翌年3月

・内容：子どもの森のすべての活動と自然環境啓発等を、月4～6回のWebページ更新にて情報発信して行く。

50

(2) 機関紙の発行

- ・時 期：5月
- ・内 容：子どもの森の前年度活動と自然環境啓発等を、機関紙「子どもの森通信9号」を発行することで情報発信をする。

5

(3) 事業案内チラシの作成

- ・時 期：各事業の開催2ヶ月前まで
- ・内 容：それぞれの事業や活動の案内チラシや参加者募集チラシを作成する。



妖精の森（竹棚）



東臼杵郡公民館連合会での横山理事長講演

10

6. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 活動拠点「森の学舎」の活用と整備

15 平成18年11月に、公募により門川町から譲与を受けた旧松瀬分校は、日本財団と連合愛の
カンパからの助成金を受け、平成20年度に会員その他ボランティアによって修繕を進めて
20 きました。また、ボーイスカウト等の団体を含めた一般開放、森林や環境等の図書や児童書・
絵本を整備して環境文庫の設置などの整備を行なってきました。そして、平成21年度は、セ
ブン-イレブンみどりの基金と門川町まちづくりプレイヤー支援、連合愛のカンパからの助成
を受け、五右衛門風呂小屋と釜戸小屋の製作と、薪ストーブの設置、新刊図書の購入を進めて
20 きました。

行政が絡んでいない民間団体での活用は他に例がなく、森の学舎は廃校になった学校の先駆
的な活用例として注目をされています。

森の学舎と周辺地域との関係も視野に入れ、環境問題を切り口とした地域コミュニティーと
しての役割など、廃校の更なる活用も目指していかなくてはなりません。

25 平成22年度で、急ぎ必要な森の学舎の整備は終わったと思われます。これからは、事業年度
の次年度でどのような整備が必要かを検討しながらの整備計画を進めていきます。また、事業
収入のひとつとして、森の学舎の開放と森の学舎で行なう環境学習の依頼があれば受入をして
いきます。

30 (2) NPO等委託・助成事業への公募

さらなる活動の発展とNPO法人としての財政充実と活動した人件費の確保、これまで蓄積
しているノウハウの活用ができる委託・助成事業があれば、「協働商談会開催事業」以外にも
理事会で協議して公募を考えたいと思います。協働商談会開催事業は、平成23年度は継続委
託でしたが、今年度は公募となります。

35

(3) 活動紹介のキャンペーン

毎月11日に、イオンの黄色いレシートキャンペーンが開催されています。昨年に引き続き、
ホームワイド出北店・マックスバリュース南延岡店・ホームワイド財光寺店・イオンロックタウ

ン日向店に投函ボックスの設置をお願いしていきます。

黄色いレシートキャンペーンの日には、投函ボックスを設置している団体が、店舗内でキャンペーン活動を行うことが可能です。黄色いレシートキャンペーンが土・日曜日と重なる日に、黄色いレシートキャンペーンを利用して会員拡大と活動紹介のキャンペーンを実施したいと思います。会員拡大と活動紹介のキャンペーンに参加した会員への人件費を予算化します。

(4) 子どもの森が加盟する団体

今年も引き続き「みやざき森づくりボランティア協議会」に、団体会員として加盟します。同協議会での総会や研修会への参加をすることで、同じ森づくりや環境問題に取り組んでいる団体との交流ができます。また、同協議会が開催する研修会では、森づくり活動への考え方や森林作業の学習等を学べます。宮崎県内の森づくりを実施している団体の相互協力と交流、森づくりの研修が、本協議会の活動の中心となっています。

今年度も、協議会が開催する総会や研修、シンポジウムへの参加や協力を行っていきます。また、昨年度に継続して横山理事長は理事として就任します。

みやざき森づくりボランティア協議会加盟団体（平成24年3月現在）

団体名	事務局住所
NPO 法人みやざき子ども文化センター	宮崎市橋通西2-5-20
木崎浜松林を守る会	宮崎市大字熊野10321
水源の森づくりをすすめる市民の会	宮崎市下北方町戸林5262-10
どんぐり1000年の森をつくる会	北諸県郡山之口町富吉2985-26
にわとこの会	日南市飢肥7-2-35
延岡アースディ実行委員	延岡市夏田町434-2 サニーハウス101
日向市ふるさとの自然を守る会	日向市大字財光寺5384-12
宮崎グリーンヘルパーの会	宮崎市祇園3丁目5番地 川島ビル202号
高千穂森の会	西臼杵郡高千穂町大字押方4520
ロキシー・ヒル	西都市大字三納10372-イ
MFV 会	大分県竹田市植木954
NPO 法人子どもの森	門川町城ヶ丘2-2
環の会	串間市大字南方1639
NPO 法人ひむか里山自然塾	宮崎市大塚台西3丁目40-10
NPO 法人ひめしやら倶楽部	高千穂町大字三田井823-40
日本熊森会宮崎支部	宮崎県延岡市塩浜町1丁目1534-62
大塚台緑地林里山整備事業委員会	宮崎市大塚台東1丁目12-2
ふる里のどんぐり森づくり会	北郷町大字郷之原乙4743-2
NPO 法人H-i-m-a-g-i-n-e	宮崎市霧島4丁目106 複合施設 ESORA 内
延岡チェーンソーアートレンジャー部隊	延岡市北方町上鹿川申739-1
さるなしの里	日向市向江町2-50
めぐみの森づくり会	椎葉村大字下福良1819

7. 助成について

今年度の活動に関して助成金を申請しているのは下表のとおりです。

助成名	助成元	助成事業	助成額
森林づくり活動	宮崎県森林環境税	①「GOCANの森」下草刈り ②「妖精の森」補植樹 ③森づくりのための森林等環境学習	136,149千円（予定）
緑の募金特定公募事業	国土緑化推進機構緑	「妖精の森」竹林の整備（昨年7月～6月）	822千円 （平成23年度に約80千円使用）
		「妖精の森」竹林の整備継続（7月～来年6月）	496千円（予定）
子どもゆめ基金	国立青少年教育振興機構	①四季をまるごと体験 eco スクール ②川をたのしく親しもう ③森で過ごそう森に学ぼう	663千円

議案Ⅱ. 平成24年度活動計画書(案)

平成24年度 特定非営利活動に係る活動計画書
(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

科目	金額		備考
経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	77,000		
賛助会員受取会費	60,000	137,000	正会員:15人×5,000、特別会員:2人×1,000 12人×5,000
2. 受取寄付金			
受取寄付金		368,000	イオン黄色いシート、人件費の一部 他
3. 受取助成金等			
受取助成金		2,048,911	子どもゆめ基金:663千、緑の募金特定公募事業:740千+496千、森林づくり活動:149千
4. 事業収益			
自主事業収益	174,000		
委託事業収益	737,000	911,000	参加者負担 協働創出市
5. その他収益			
雑収入		1,000	預金利息 他
経常収益計		3,465,911	
経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	453,400		
臨時雇賃金	179,000		
人件費計	632,400		協働創出市、竹林の整備 川をたのしく、森で過ごそう、ecoスクール、協働創出市
(2) その他経費			
備品	448,980		
諸謝金	136,600		
印刷製本費	527,240		簡易炭窯(竹林の整備) 川をたのしく、森で過ごそう、ecoスクール、森林等環境学習
Webページ運営費	67,500		ecoスクール散紙印刷(業者)、他事業はトナ代
旅費交通費	154,600		森林づくり活動(広告料含む)、緑の募金特定公募事業
通信運搬費	84,800		
消耗品費	590,581		
会議費	71,000		
損害保険料	90,360		協働創出市での会場代
雑費	28,560		
予備費	87,600		助成外
減価償却費	93,387		簡易炭窯
その他経費計	2,381,208		
事業費計		3,013,608	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
臨時雇賃金	6,000		
人件費計	6,000		黄色いシート・キャンペーン
(2) その他経費			
旅費交通費	25,000		
通信運搬費	25,000		各種会議、ラジオ・テレビの収録 他
消耗品費	12,000		郵便、事務局電話料、森の学舎携帯 文房具 他
諸会費	3,000		みやざき森づくりボランティア協議会
会議費	8,000		総会、理事会
研修費	10,000		みやざき森づくりボランティア協議会 他
損害保険料	11,000		ボランティア保険
租税公課	3,000		助成金申請、県事業報告用
施設管理費	150,000		土地借用代、浄化槽管理費、電気代
雑費	1,000		振込手数料 他
予備費	13,000		
減価償却費	284,645		チャリ-シュレッダ-2台、耕うん機
その他経費計	545,645		
管理費計		551,645	
経常費用計		3,565,253	
当期正味財産増減額		-99,342	
前期繰越正味財産額		3,116,690	
次期繰越正味財産額		3,017,348	

※会費 正会員：5,000円(ただし、特別会員は、1,000円。) 賛助会員：5,000円

特別会員とは、社会に出る前の大学生や専門学校生と同一世帯で2人め以降の正会員で、総会での議決権や理事への立候補など、通常の正会員と同じ権利を有します。

5



役員名簿

役職	氏名	就任期間	報酬について
理事長	横山 謙一	平成23年4月1日～平成25年3月31日	報酬無
副理事長	田中 公宜		
	丸野 由美子		
理事	工藤 恵理香		
	横山 純子		
監事	金子 恭子		

10

会員名簿 (敬称は略します)

横山 純子	門川町	猪須 寛司 (賛助)	延岡市
横山 謙一 (特別)	門川町	満留 紀子	西都市
金子 睦子	大分県	津野 桂子 (賛助)	門川町
中山 誠一 (賛助)	横浜市	日高 睦雄 (賛助)	門川町
山内 清和	都農町	ボーイスカウト延岡第4団 (団体賛助)	延岡市
濱田 秀生 (賛助)	横浜市	藤川 勝 (賛助)	延岡市
田中 公宜	延岡市	太田 清海 (賛助)	延岡市
請関 哲美	門川町	太田 龍 (賛助)	延岡市
金子 恭子	延岡市	(有)イッポコンピュータ (団体賛助)	宮崎市
猪崎 悦子	宮崎市	牧野 国広 (賛助)	門川町
請関久美子 (特別)	門川町	加藤 美穂	門川町
丸野 由美子	延岡市	兒玉 善平	日向市
吉田 美和子	宮崎市	岩切 英子	延岡市
井本 栄一 (賛助)	宮崎市	徳田 純一	延岡市
工藤 恵理香	日向市	井澤 光一	延岡市

(特別)：特別会員、(賛助・団体賛助)：賛助会員



椎茸本伏せ



四季をまるごと体験ecoスクールの麦畑

平成24年度活動日程

H24年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	振		
4月											会計監査			竹林整備									総会						学舎整備	30			
5月	火	水	祝	祝	祝	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
		学舎整備	5										eco準備						竹林整備	20					ecoスクール								
6月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
									ecoスクール						GOCANの森																竹炭焼	7/1	
7月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火		
	学舎整備						ecoスクール															竹炭焼	22							川をたのしく			
8月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
										ecoスクール																竹炭焼	26						
9月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日			
	ecoスクール							竹炭焼	9																								
10月	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
												ホダ浸水											竹林整備				ecoスクール						
11月	木	金	祝	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	祝	土	日	月	火	水	木	金			
										竹林整備						ecoスクール													森で準備		協働商談会		
12月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	祝	振	火	水	木	金	土	日	月		
		森で過ごそう													ecoスクール																		
H25年	祝	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
1月																																	
2月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木					
											PR活動													ecoスクール									
3月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	祝	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
		竹林整備								ecoスクール	10															森林環境セミナー				春をたのしもう			

竹林整備（妖精の森）：竹伐採・竹チップづくり・竹粉づくり・竹棚づくり
 竹炭焼（森の学舎）：竹林整備で伐採した竹で炭焼き
 GOCANの森：高校生との下草刈
 ホダ本伏：H23年度森林環境セミナー・春を楽しもうでの椎茸ほだ木の本伏せ
 ホダ浸水：H22年度森林環境セミナー・春を楽しもうでの椎茸ほだ木の収穫前の浸水作業
 ホダお越し：H22年度森林環境セミナー・春を楽しもうでの椎茸ほだ木の収穫用作業
 エコスクール（2期四季をまるごと体験ecoスクール）：子どもとその保護者への環境教室（同じ参加者による）
 川をたのしく（川をたのしく親しもう）：川を活用しての自然体験交流
 森で過ごそう（森で過ごそう森に学ぼう）：森林を活用した体験型環境学習

森林環境セミナー：森づくりボランティアの養成（森林生態学、植物観察）
 春をたのしもう：妖精の森への植樹、山菜料理
 eco準備：エコスクールの準備
 川を準備：「川をたのしく」の準備
 森で準備：「森で過ごそう」の準備
 協働商談会：協働創出市2011の継続開催
 学舎整備（森の学舎整備）：施設整備、草刈り
 PR活動：黄色いレシートキャンペーンでのPR参加
 森ボラ協総会：みやざき森づくりボランティア協議会総会

その他・関連して
 定期的な理事会の開催、子どもの森HP運営、竹粉の有効活用、子どもの森通信の発行（5月末）、エコスクールの参加者募集で小学校訪問、協働商談会の参加団体募集とHP運営各活動の案内文書作成と参加者募集、カブトムシ飼育、椎茸収穫、土日の環境文庫オープン



事務局：宮崎県東臼杵郡門川町城ヶ丘 2-2

TEL/FAX 0982-95-7800

<http://www.kodomonori.info>

office09@kodomonori.info

携帯サイト <http://kodomonori.info/m>

協働創出市サイト <http://kyoudou.info>

森の学舎：宮崎県東臼杵郡門川町大字川内字イカダ場 3412 番地 1

TEL 080-2696-5180